

プロジェクト1「生命のかたち」2017年度開講授業

「多文化共生・統合人間学実験実習Ⅰ」

「生命のかたちとしての演劇実践」

tiptoed down the silent passage, entered the nursery
and began to undress Dolly.



2015年南インド・ケララ州国際演劇祭「しあわせな日々」より（撮影：内藤久義）

Sセメスター開講日：第1回 4月29日（土）、第2回 5月27日（土）、第3回 6月24日（土）
第4回 7月22日（土）、第5回 7月23日（日）、各回3限-5限（13:00-18:35）

教室：東京大学駒場キャンパス コミュニケーションプラザ 身体運動実習室1（P301）

主催：東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム（IHS）」
教育プロジェクト1「生命のかたち」

身体はどのように思考するのか。この根源的な問いを俳優の安藤朋子先生（シアターカンパニー・ARICA）の指導のもと、身体ワークショップと対話を通して学んでいきます。Sセメスターでは極度にゆっくりとした歩行により、虚構の時間に身を置くことで日常生活にはない感覚を獲得し、Aセメスターはエチュードを組み立て最終的には一本の作品として上演します。また授業の一環として、これまでIHSで講演やワークショップを行っていただいた、インドの演出家（シアター・ルーツ&ウィングス主宰）シャンカル・ヴィンカテーシュワラン氏が、南インド・アタパディの広大な自然の中に建設した劇場にて、インドの演劇関係者と共に研修授業を行う予定です（9月中旬予定）。演劇やダンスの経験は必要ありません。身体について興味がある方でしたらどなたでも参加可能です。



アタパディにそびえる聖山マリシュワラ



マリシュワラ麓の劇場

問い合わせ先：project1@ihs.c.u-tokyo.ac.jp